

アイシンググタバー

「ここにはわれら不断の  
潔く楽しい創造がある」

# Factory

『株式会社丸五』さん。明治から続く地下足袋の製造業者です。職業靴としての地下た  
びの需要は、年々少なくなって来て来ているといいます。丸五さんは、常に時代に合う新  
しいたびの形に挑戦されています。

「われらは新たな美を創る  
美学は絶えず移動する」

TABIを創る工場は、岡山県倉敷市にあります。

社屋に張られた板は、一度焼（やき）を入れてあります。耐火性が  
増し、潮風にも強い。昔ながらの智恵が息づく町。

工場はミュージアム





Craftsmans



「諸作無意識中に潜入するほど  
美的の深と創造力はかはる」



アーシングTABIは「職人」さんたちの手で一つ一つ作られています。




一つの仕事をただひたすらに・・・  
その先に、初めて生まれる美しさがあります。

Hand made

「ここには多くの解放された天才がある」





長年、足袋の形成をされている方は、指の形が足袋を作り易い様になってきたと、伺いました。



TABIを作る全ての工程に、人の「手」が携わっています。



人の「手」が創造を生みだす。



「思い」とぬくもりが「手」の中に。

「手」がすべてを覚えている。



# Cloth

同じ倉敷市にある生地メーカー「株式会社タケヤリ」さん。船の帆にも使われるというタケヤリ帆布をTABIのアップー生地として使用しています。（ネイビーを除く）

TABIの生地には帆布を使用。



複雑な機械が、丹念に生地を織り上げていきます。





靴底は導電性のカーボン樹脂。



軍服素材を使用したネビー。



中敷に導電性繊維を縫い付けました。

## Earthing



# Lineup



マスタード



ブルーストライプ



ネイビー

各¥12,000(税込)



ライトブルー



「かくてわれらの芸術は新興文化の基礎である」

「内は全て宮沢賢治「農民芸術概論要綱」より引用

お問い合わせ

TEL 0268-75-0657

Email [info@kakuichi-institute.org](mailto:info@kakuichi-institute.org)

アーシングジャパン サービスセンター

アーシングTABIのお求めは下記Webサイトより

<http://earthing.jp/>